

2022 年 6 月 9 日

学校法人三幸学園
沖縄こども専門学校
校長 萩原 知子 殿

学校関係者評価委員会
委員長 真下 雄貴

学校関係者評価委員会実施報告

2021 年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

- ① 真下 雄貴 (株式会社ビルネット 営業本部)
- ② 宮良 利恵子 (那覇市立泊認定こども園 園長)
- ③ 岡田 真希 (飛鳥未来きずな高等学校 沖縄キャンパス主幹教諭)

2 学校関係者評価委員会の開催状況

2022 年 6 月 9 日 (会場 沖縄こども専門学校 602 教室)

3 学校関係者委員会報告

別紙「自己評価・学校関係者評価報告書」に学校関係者評価委員会コメントとして記載

以上

2021年度 学校法人 三幸学園 沖縄こども専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 所 慎

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 真下 雄貴

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、保育分野の学校として「こどもを育み、人・社会を活性化することで日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、保育分野として「皆から信頼・感謝されるこどもの未来を育む人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

教務目標 「明るい挨拶とありがとうであふれる学校」

退学率3.2%未満

① 前年度重点施策振り返り

2021年度退学率は4.2%であった。数値上、目標を下回り、目標比+1.0%、昨対比も+1.8%となった。当法人の全分野平均6.5%、こども分野全体の平均が6.3%につき、それに比べると好結果のように見えるが、昨年度が退学率低減に大きく成功したため、少し増加傾向にあることを踏まえて、2022年度に反省を活かしたい。新型コロナウイルス感染症対策に伴う、休校、分散登校、オンライン授業等がある中、直接的な他人との関わりが少なく、行事も中止や縮小、実施方法変更もあり、人間関係によるトラブルが物理的に減少したことは分野問わず退学率低減に繋がっていると推測する。退学理由については、目標喪失が38.1%と最も高く、次いで進路変更（就職）26.5%、人間関係24.1%、心神耗弱19.8%となった。特に1年生については、昨年3.9%まで低減できた退学率が9.0%まで悪化したことについては、授業等教務活動の見直しと改善が必要と感じる。2022年度は、引き続き継続した退学率低減を目指し、こどもを常を感じるできるように沖縄こども保育園や泊認定こども園、その他地域との連携を強化し、目標喪失とならないよう実践力の強化に努め、教育理念である「技能と心の調和」の元、技術のみならず心が通う教育を実施していきたい。そのため、2022年度はさらなる授業力向上に向けて魅力ある授業づくりに研修等を交えて取り組んでいく。

② 学校関係者評価委員会コメント

- 前年度重点施策振り返り中で退学率が少し増加したこと、また退学理由の目標喪失が38.1%ととても高く気になった。具体的な内容を把握していただきたい。コロナ禍の中で授業の工夫や業界の魅力を生徒にどう伝えていくか、とても大変な事と思うが、子どもとかかわる機会を多く設定することは非常によい取り組みと考える。引き続き取り組んでいただきたい。（真下委員）
- 保育は非常に夢のある職業である。ぜひ多くの保育に携わる社会人を育てていただきたい。（宮良委員）

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

① 課題

人材育成像を掲げるものの、非常勤講師へは年3回の全体会議のみとなった。常勤・非常勤の一体化という意味での仕組みを作り、活かしていきたい。

③ 今後の改善方策

2022年度は当法人の創設者の学園長及び理事長が来沖し、地域ビジョンミーティングを行うことで、理念、目的、育成像、将来構想等を教職員間に浸透させ、一体化を強化する研修を行い、次に生徒や保護者にも周知、浸透につなげていきたい。

④ 特記事項

なし

⑤ 学校関係者評価委員会コメント

学校の理念・人材育成像は引き続き伝え続けてほしい。常勤講師はともかく、非常勤講師へ教育理念を浸透させていくことは大変なことでもある。全員が同じ精神で向き合っていただけるよう、も引き続き伝えていっていただきたい。（見える化も活用）（真下委員）

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

① 課題

質の向上を目指したいが、慢性的なマンパワー不足と人材育成の停滞が課題。

② 今後の改善方策

教職員採用活動の強化を図る。

今年度より地域特性柄、教職員の知り合いを通じたりファール採用を強化し、採用強化が図れた。

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・ よい質の高い授業の向上を目指すのであれば、まずは慢性的なマンパワー不足を無くすことが必須である。採用計画、採用強化をはかり効果的な業務遂行、学校運営を行っていただきたい。（真下委員）
- ・ 業界の人材不足は深刻である。那覇市も毎年採用試験を行っているが、年によって受験者数にもばらつきがあり、また個別で支援が必要な子どもが増えていることもあり、人材確保が課題である。そういった事情も踏まえて学校運営を行っていただきたい。（宮良委員）

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格（免許）取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

① 課題

関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修実施が少ない。

② 今後の改善方策

- ・ 業界との繋がりが持てるように、講師派遣やインターンシップ以上の関係性構築が必要である。
- ・ 教育訓練給付制度の対象校なり、先端的な知識・技能等を強制的に修得する。
- ・ 実習評価会を開催したい。

⑥ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・ 引き続き業界、関連企業・団体との関係、繋がりを強化していただきたい。また教育は進化しており、今後はより一層先端的な知識・技術を修得していくための人材育成も必要になってくる。ぜひそういったことも踏まえ、教育活動を展開していただきたい。（真下委員）

- ・ 那覇市や公立幼稚園協会等主催で、毎年多くの研修会を行っており職員が参加している。内容も福祉分野における職員の質の向上や、特別な支援が必要な子どもへの対応、医療的ケア等様々である。多様な人材育成のためにも、職員研修を積極的に行うとよい。（宮良委員）

(4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格（免許）取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

① 課題

継続的な退学率の低減

② 今後の改善方策

退学率 ⇒ 現実的な数値目標の設定や、退学事前報告会等の開催

② 特記事項

- ・ 2021年度実質就職進路決定率96.1% 昨対+1.3%)
- ・ リモート(同時双方向型)保育発表会の成功

③ 学校関係者評価委員会コメント

業界の魅力を伝えること、就職先の更なる充実など課題はあるかと思うが引き続き努めていただきたい。退学率の低減にもなるかと思う。またリモートでの行事の発信は素晴らしい。ぜひ他地域にも発信していただきたい。（真下委員）

(5)学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	4
中途退学者への支援体制はあるか	4
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

① 課題

卒業生への支援について公開する必要がある。

② 今後の改善方策

- ・ 支援体制の仕組化と、特に卒業生との繋がりを支援していく。
- ・ 「同窓会 Sanko-Link」の活用と活性化
- ・ 養護教諭をスクールカウンセラーと兼任で設置し、健康管理及び学生相談の体制強化

④ 特記事項

- ・ 就職指導については、クラス担任と就職エリア担当のダブルサポートシステムを実施し、内定獲得まで導く体制づくりをしている。2021年度実質就職進路決定率96.1％ 昨対+1.3％)
- ・ 教育訓練給付制度認定校

⑤ 学校関係者評価委員会コメント

学生が安心して学校生活が送れることが出来るよう、あらゆる面からサポートできる体制や制度の検討を引き続きお願いしたい。（真下委員）

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	4

① 課題

施設・設備の更なる整備が課題。

② 今後の改善方策

ビルメンテナンス企業様との連携強化。

③ 特記事項

年間 2 回の沖縄こども保育園との合同避難訓練実施。

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・ 安心・安全に授業が受けられる環境整備を引き続き計画・検討して欲しい。今後 Wi-Fi 環境、デジタル化に向けた整備も必要になってくるかと考える。また、インターンシップ先の開拓など引き続きお願いしたい。（真下委員）
- ・ 那覇市が ICT 化を進めており、保護者向けの配信も行っている。安心安全に関しても大雨等の情報発信もされている。学校の ICT 化もぜひ推進していただきたい。（宮良委員）

(7)学生受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

定員充足率を100%にする。

② 今後の改善方策

広報活動の更なる強化。

⑤ 特記事項

一般社団法人沖縄県専修学校各種学校協会に加盟し、同会で定められた生徒募集ルールに則り取り組んでいる。併せて、生徒募集専門部署である沖縄広報室を設置し、募集活動に取り組んでいる。

④ 学校関係者評価委員会コメント

学生受け入れ募集活動時、十分な説明、告知を引き続きお願いしたい。（真下委員）

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

なし

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

なし

② 今後の改善方法

【中期計画】

現在、第2次中期計画(2018年度～2022年度)の対象期間中であるが、当該計画を着実に実行すると共に今後は当該計画の公開に向けて着手していく予定である。

【財務情報の公開】

なし

③ 特記事項

なし

④学校関係者評価委員会コメント

特になし

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

なし

② 今後の改善方策

なし

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

引き続き法令遵守、適正な学校運営の程、よろしく願いたい。（真下委員）

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

① 課題

教育訓練給付制度の対象校

② 今後の改善方策

教育訓練給付制度対象校として、公開講座を実施していきたい。

③ 特記事項

- ・ 太陽のえくぼ様との地域連携ボランティア実施
- ・ 沖縄こども保育園の園行事ボランティア実施

④ 学校関係者評価委員会コメント

コロナ禍の中で積極的な社会貢献活動、地域貢献活動、ボランティア活動は十分に活動出来なかったかと思うが、太陽えくぼ様との地域連携ボランティア、園行事ボランティア実施は継続していただきたい。また FC 琉球様、琉球ゴールデンキングス様との連携もぜひ進めていただきたい。学びの場が広がることは、学校や保育の魅力が伝わり、学生のモチベーションも上がる。これからも地域の方々から愛される学校を目指してほしい。（真下委員）

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

新型コロナウイルス感染症蔓延に伴い、ICT 等を活用し、対面でない状況下でも質の高い教育の提供をするための工夫ができた。生徒数増加に伴い、質の向上が求められる中、沖縄県への設置認可時の趣意書にも記載した、保育士不足解消に貢献をするという観点では、保育士・幼稚園教諭としての就職率も96%を超えており、貢献できている実感を教職員全体が持てている。地域 NO.1の専門学校となり、選ばれる学校となっているが故に、さらにコンプライアンス遵守と共に、保育園、幼稚園等の関係性を強めていくことに力を入れていきたい。そして、教育訓練給付金の対象校となったことを活かしてリカレント教育にも力を注ぎ、幅広い年齢層に対しても、質の高い教育を提供することで、保育士、幼稚園教諭の総合専門学校として更なる高みを目指していきたい。

そのためにも、こどもの関わるイベント等をより多く開催し、地域の子育て支援に携わる機会を増やすことで、地域の子育て世代とのリレーションを強化し、それに伴う教育効果も得られるようカリキュラムとの連動を図る。さらなる沖縄校の発展を目指す。